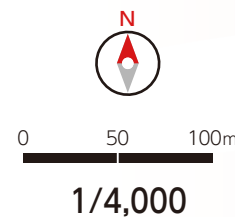


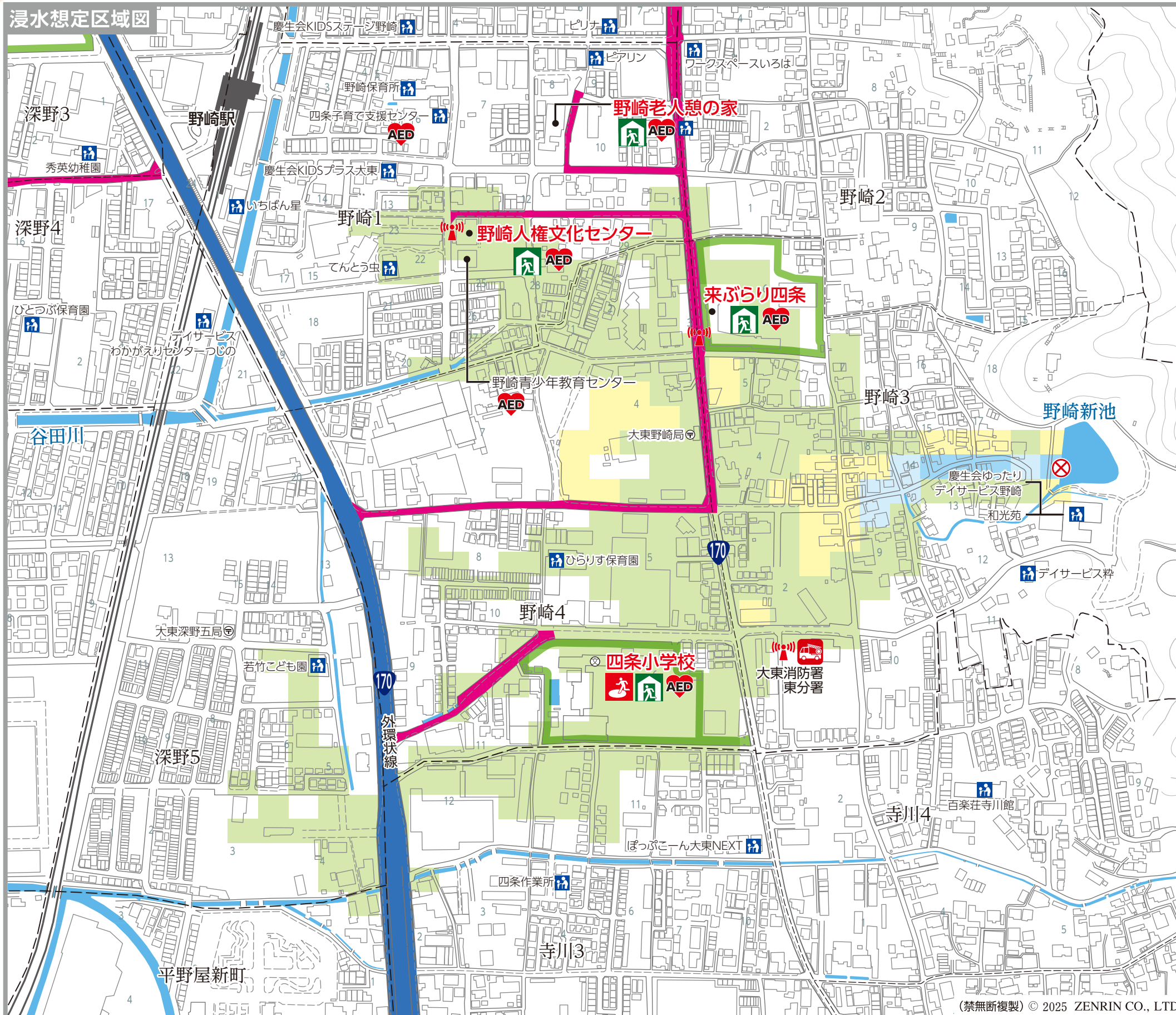
ため池ハザードマップ

記号凡例	指定緊急避難場所	要配慮者利用施設
	指定避難所	ため池決壊想定箇所
	消防署	広域緊急交通路
	防災行政無線	地域緊急交通路
	AED	



浸水した場合に想定される水深(ため池)
～3.0m未満
～2.0m未満
～1.0m未満
～0.5m未満

浸水想定区域図



(禁無断複製) © 2025 ZENRIN CO., LTD.

ハザードマップ活用の留意点

①野崎新池は平成 25 年度に実施した耐震診断結果より、大規模地震（震度 6 クラス）に対し耐震性能を有している事が確認されていますが、想定を超える大地震等により、万が一ため池が決壊した場合を仮定し、避難時等に活用していただくため、このハザードマップを作成しました。

②災害発生時には、このハザードマップで示した浸水想定区域以外でも、浸水の生じる可能性がありますので、状況に応じた柔軟な避難行動を心掛けてください。

シミュレーションの条件

①氾濫による浸水範囲は、ため池堤防が決壊した場合に予想される最大規模を想定し、決壊する位置はため池西側の堤防としています。

②決壊時におけるため池の貯水量は満水（約 9,000 t）とし、堤防決壊時にはすべての水が流れ出すと仮定しています。

③ため池堤防が決壊する進行速度は被災要因によって様々ですが、堤防が瞬時に決壊すると仮定しています。

④氾濫シミュレーションは、地形を 25mメッシュに分割したモデルを用い、決壊により氾濫した水がどのように流れるかを計算しています。

決壊想定箇所図

